

「アスナビ・チーム大分プロジェクト」エントリーシート

提出日 令和 7年 6月 15日

ふりがな	えとう ゆうと	性別	生年月日・年齢	
氏名	衛藤 優乙	男	西暦2003年8月31日 (21歳)	
競技・種目	ホッケー			
出身地	大分県	就職を希望する時期		
現所属	山梨学院大学	2026年 4月		
保有免許 資格等				

【経歴】

年	月	学歴・職歴	
2019	4	大分県立玖珠美山高等学校入学	
2022	3	大分県立玖珠美山高等学校卒業	
2022	4	山梨学院大学 スポーツ科学部 スポーツ科学科 入学	
2026	3	山梨学院大学 スポーツ科学部 スポーツ科学科 卒業見込み	

■ 主な競技成績

年	月	大会名	成績
2024	11	関東学生ホッケー秋季リーグ	優勝
2023	11	全日本学生ホッケー選手権大会	3位
2022	11	全日本学生ホッケー選手権大会	3位
2021	8	全国高等学校ホッケー選手権大会	5位タイ(大会優秀選手)

■ 自己PR(競技で培った能力や経験、今後の競技目標、採用企業へ提供できるメリットなど)

私の最大の強みは、どのような困難な状況に直面しても、目標に向かって粘り強く取り組み、その達成までの過程を大切にすることです。この強みは、私が長年情熱を注いできたホッケーでの経験を通じて、より一層磨かれました。

ホッケーというチームスポーツでは、個々のスキルアップはもちろんのこと、チーム全体の連携なくして目標達成はありえません。試合や練習の中で、思うような結果が出ず、困難な状況に何度も直面しました。しかし、そこで諦めることはありませんでした。チームとして、そして個人として、粘り強く改善策を模索し、具体的な課題を特定。チームメイトと密にコミュニケーションを取りながら、様々な解決策を議論し、実践を重ねてきました。この経験は、単に技術的な問題解決能力を高めただけでなく、困難な状況下でも冷静に状況を分析し、主体的に行動に移すという、私の課題解決能力の基盤を築きました。結果だけを追い求めるのではなく、目標達成に至るまでの試行錯誤や努力の過程を重視するこの姿勢は、どのような状況においても最後までやり遂げる私の揺るぎない原動力となっています。

今後は、社会人として仕事に責任を持って取り組みながらも、地域社会への貢献、特に私が愛する大分県のホッケー発展に貢献したいという強い思いがあります。具体的には、仕事とホッケーを両立させながら成年男子チームでのプレーを継続し、ホッケーの魅力を広めるための普及活動や、次世代の選手育成にも積極的に関わっていきたいと考えています。これまでホッケーを通じて培ってきた目標への粘り強いコミットメント、どんな問題にも立ち向かう課題解決能力、そしてチームで協働する力は、必ずや社会人として直面する多様な業務や課題においても、大きな強みとなると確信しています。

【支援先企業への情報】

就職希望条件	
①職種・仕事内容 年収など	どのようなお仕事も一生懸命取り組ませていただきます。
②勤務地	大分県・福岡県
③勤務体制	昼勤